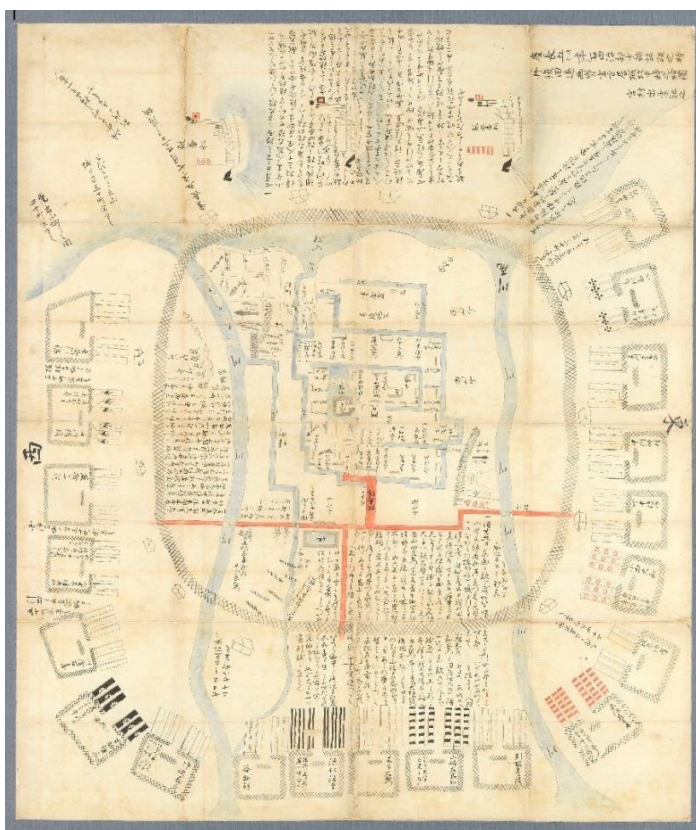


舞鶴ふるさと発見館（舞鶴市郷土資料館）だより

令和4年9月

☆9月は田辺城籠城戦！



田辺籠城図（舞鶴市蔵、124cm×106cm）

細川幽斎による田辺城籠城戦は慶長5年(1600)7月21日から9月12日(旧暦)まで田辺城で繰り広げられました。

豊臣秀吉の死後、石田三成と徳川家康の対立が深まっていました。丹後の領主細川忠興は、徳川家康に従って会津征伐に参加していました。その留守中に石田三成の指示によって丹後は攻められました。丹後にのこっていた忠興の父幽斎は、他の城を焼き払い、居城田辺城に立て籠もりました。その数500、攻め手は15000とも言われましたが、朝廷は古今伝授の継承者である幽斎を惜しみ、開城を勧め、ついに52日間の籠城がとられました。そして、3日後の関ヶ原で徳川家康が勝利しました。細川家は忠興の活躍とともに、幽斎が15000の兵を関ヶ原に参加させずに田辺に足止めしたことも評価され、丹後12万石から豊前・豊後39万石に加増国替えされました。籠城図は現在10枚確認されています。幽斎の夫人麿

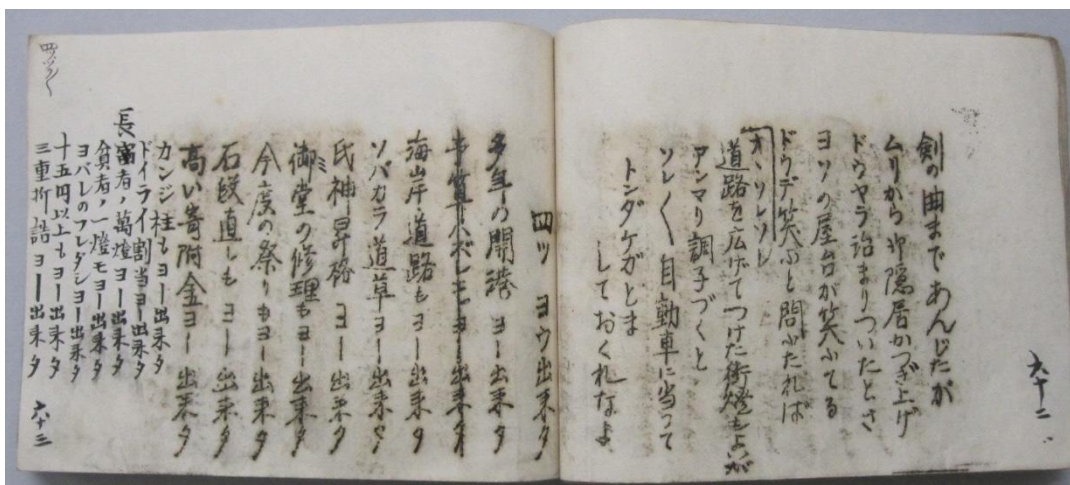
香(じゃこう)が紅で配置を描いたものが元図だといふ言い伝えがありますが、現在のこっているものは一枚として同じものはありません。展示の籠城図は舞鶴市蔵のもので

☆今月の一品「はやし文句」帳

今月の一品は西地区平野屋町の「はやし文句」です。現在、朝代神社の祭礼は11月3日に行われていますが、江戸時代は9月9日でした。そこで今月の一品は平野屋町に伝わる「はやし文句」帳です。平野屋町は朝代神社の祭礼行列で太神楽を出します。太神楽では、伊勢太神楽のように獅子舞をしますが、それとともに、曲芸をしながら神楽唄を



うたいます。歌詞は風刺がきいており、これは江戸時代から続くものだといわれています。「はやし文句」はこの歌詞を書いた帳面です。展示しているのは昭和3年(1928)のものです。



☆今月の糸井文庫

糸井文庫コーナーでは毎月テーマを決めて糸井文庫の浮世絵を紹介しています。今月はまだまだ暑い日が続きます。「海の京都・山の京都」と題して、すがすがしい海や山のブルーを紹介します。左の浮世絵は歌川貞重の描いた「竜宮入り浦島」です。このブルーは北斎ブルー、ベルリンブルー(ペロ藍)ともいわれ、江戸時代後半から広まった輸入の絵の具です。



お問い合わせは

舞鶴ふるさと発見館(舞鶴市郷土資料館)

Tel:0773-75-8836

(受付時間 9:00~16:30)

Fax:0773-77-1314

住所:舞鶴市字南田辺1番地

(ゆうさい会館(西総合会館)1F 北側)

展示室入場料:大人 100 円、

市外学生 50 円

サロンスペース:無料

休館日:5(月)・12(月)・20(火)・21(水)・26(月)

コロナウィルス感染予防対策に
ご協力ください

